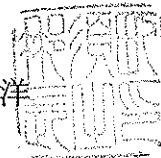




国土交通省道路局長 様

那 建 第 4 1 号
平成 19 年 5 月 7 日

那須町長 佐藤正洋



道路整備の中期的な計画の作成に対する意見

本町は栃木県の北部に位置し、関東地方と東北地方を結ぶ交通の要衝地として、東北新幹線、東北縦貫自動車道、国道4号、294号が通過しています。また、那須連山の主峰をなす茶臼岳を中心とした那須高原を抱え、冷涼な気候と豊富な温泉があり、日本有数のリゾート地としてホテル、寮、保養所、別荘、テーマパークが建ち並び、年間約500万人の観光客が訪れています。

本町の自然条件、首都圏からの地理的条件を考慮いたしますと、今後とも高級リゾート地として発展し、その重要性が益々増大するものと考えております。

平成18年度から始まりました第6次那須町振興計画「ハートフル那須プラン」におきましても観光立町を目指した各種の施策を計画いたしております。特に道路網の整備は必要不可欠な施策として町づくりの基本となるものです。

従いまして道路整備の中期的な計画の作成に当たりましては本町の振興発展上、次の事項を盛り込んでくださるよう意見を申し上げます。

1. 幹線道路の整備促進

本町は関東と東北を結ぶ主要な幹線道路として東北縦貫自動車道、国道4号、294号が通過いたしております。このうち国道4号はカーブが多く、勾配がきつい箇所もあり、歩道の未整備区間もあります。国道294号につきましても、国道4号を補完する道路として近年大型車輛の利用が増大しております。しかしながら栃木県内は未整備区間も多く、通行車輛や沿線住民の生活に大きな支障をきたしております。従いまして地方を結ぶ幹線道路につきましても尚一層の整備促進が必要であります。

2. 広域観光ルートへの道路整備促進

那須高原を訪れる年間約500万人の観光客は首都圏はもとより、東北地方、北陸地方等など広範囲にわたっており、そのほとんどが自動車を利用しています。このようなことから各地方の観光地を結ぶ広域観光ルートを確立し、観光客の回遊性、利便性の向上を図り観光地の活性化に資するため、那須高原と日

光、潮来、水戸、北茨城、会津、いわき、相馬地方等を結ぶ明確な広域観光ルート^①の道路整備が必要であります。

3. 地域間を結ぶ道路整備促進

本町は栃木県内地域との結びつきや交流はもとより、東部は茨城県、北部は福島県との人々の交流が盛んであります。しかしながらこれらの地域間を結ぶ主要地方道大子那須線、黒磯棚倉線、坂本白河線、県道豊原高久線は未整備区間が多く、通行に大きな支障をきたしております。これらの路線は地域間を結ぶ重要な路線であり、地方に住む人々のため地域間を結ぶ道路の整備は必要不可欠であります。

4. 市町村道の舗装修繕の支援

本町の総面積は372.31km²と広大な面積を擁し、その中を縦横に走る町道路線は646路線、延長は600kmに及んでいます。市町村道は生活するうえで最も身近な社会資本であります。

本町における町道の維持管理につきましては、特に舗装路面の経年劣化による舗装修繕の必要性が高まっていますが、財政事情等により遅々として進まない状況にあり、国の財政的支援を強く要望します。

5. 歩道の整備促進

最近の世相として安全で安心な道路行政が強く求められており、本町においても市街地や学校周辺、観光名所周辺の道路においては、住民や観光客から歩道の設置を強く求められています。従いまして歩道の整備促進を積極的に推進することが必要であると考えます。